

# 高活協通信(2023年5月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

## ◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

### ■お知らせ

- 今月の“「定年後の仕事」情報欄”は、“連載「高齢者は定年後どんな仕事をしているのか」”の第7回目です。
- 高活協通信「今月の一冊」は、「ぼっち死の館」です。
- 高活協ホームページを更新しました。
  - ・「高活協ホームページ」の URL は以下の通りです。

<http://www.agenomics.org>

高活協は会員の皆様に毎月1回「高活協通信」を配信させていただいております。この通信活動を会員の皆様と高活協とのコミュニケーションの機会とさせていただきたく考えております。つきましては、皆様のご意見や提供したい話題などがございましたら、本配信メールへの返信にてお寄せいただければ幸いです。

### ■2023年4月の主な活動

- 高活協は現在、シンポジウムなど人が多く集まるイベント活動を停止しております。ただし、少人数の会議・イベント等、あるいは ZOOM 等を利用したオンラインの会議・イベント等は適宜実施しております。
- 2023年4月25日、高活協の理事会および総会を開催しました。主な議題は2022年度の決算報告、2023年度の事業計画です。議論の中では、コロナ禍で自粛してきた(オンラインではなく)リアルイベントをそろそろ再開したらどうかとの意見が出されました。例えば、法人賛助会員がリアルに集まって情報交換を行う場を設けるなど、リアルイベントをどう進めるか今後の検討課題となりました。なお、議題として提起された案件に関しては、すべて議決・承認されました。
- “「定年後の仕事」情報欄”では、連載で「高齢者は定年後どんな仕事をしているのか」を掲載していますが、先月からは、「高齢者の多くが実際に従事している定年後の仕事は何？」について検討しています。言うなれば「定年後の仕事ランキング」をテーマにしております。
- 高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ページにおいて、「高活協通信(2023年4月号)」を掲載しました。
- 2023年4月、生涯現役社会の実現に向けた行政や企業などの動向に関する情報収集を行いました。なお、「◆◆◆生涯現役社会の実現に向けてー トピックス ◆◆◆」のコーナーでは、“「定年後の仕事」関連情報”を適宜掲載していきます。

## ◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

---

### ■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.genomics.org/>

## ◆◆◆高活協会員関連イベント等のご紹介◆◆◆

---

会員のご希望があればご紹介記事を適宜掲載させていただく予定です。

## ◆◆◆生涯現役社会の実現に向けて – トピックス◆◆◆

---

生涯現役社会は、「職業寿命」「社会活動寿命」「健康寿命」「資産寿命」という 4 つの寿命の延伸が相乗効果をもたらす社会、すなわち「それぞれの寿命の伸びが相互に他の寿命も伸ばす」という好循環がもたらされる社会です。そんな生涯現役社会の実現に向けた最近の動きを紹介していきます。

### ■ちょっとした話題

ディップ総合研究所は 2020 年 8 月に、ミドル・シニア 8,000 人を対象とした「生涯現役社会を望まない人の割合」に関する調査を実施しています。調査の対象となったのは、これから定年を迎える 55～64 歳と、すでに定年を迎えた 60～79 歳の人々です。その結果は以下の通りです。

○これから定年を迎える人では、定年後も働きたいと思っている人は 57.8%、逆に働きたくないと思っている人は 22.8%でした。

○すでに定年を迎えた人では、定年後も働きたかったと思っていた人は 51.7%、逆に働きたくなかったと思っていた人は 35.4%でした。

### ■「定年後の仕事」情報欄

○2021 年 4 月から施行された改正高年齢者雇用安定法(=70 歳就業法)では、定年後の継続雇用だけでなく、継続的な業務委託や社会貢献活動への支援といった措置も選択肢になっており、高齢者の多様な働き方を後押ししています。

○今後このトピックスのコーナーでは、「定年後の仕事」に関連した情報を適宜掲載していきます。高齢者の就業を考える際の参考にしていただければ幸いです。

---

「高齢者は定年後どんな仕事をしているのか」をテーマにした情報を連載しています。連載第 7 回目の今月号では「定年後の仕事ランキング」の WEB 情報について見ていきたいと思えます。

---

「定年後の仕事ランキング」を話題にした今月号では、手始めにグーグルで「定年後&仕事ランキング」で検索してみました。上位のページに出てきたのは以下のようなものでした。

### うるねす : 定年後の仕事おすすめランキング TOP10 !

○マンション管理員 ○警備 ○介護 ○販売・接客 ○清掃 ○事務 ○軽作業 ○調理補助 ○ドライバー ○家事代行

### クリエイト転職 : 定年後の仕事にオススメな職種 6 選 !

○警備 ○清掃 ○ドライバー ○マンション管理人 ○軽作業 ○介護スタッフ

### しゅふ JOB : シニアに人気の「お仕事ランキング」!

○事務 ○軽作業(梱包、仕分け) ○資格を活かしたお仕事 ○清掃 ○医療・福祉系

### テックキャンプ : 定年後の仕事おすすめ 7 選 !

○IT エンジニア ○警備員 ○マンション管理人 ○タクシードライバー ○事務・入力 ○受付 ○WEBライター

### らくらく情報局 : 定年後の仕事 12 選 !

○接客業 ○清掃業 ○警備 ○軽作業 ○児童会館お手伝いスタッフ ○学生寮の調理補助 ○コンビニ店員 ○家事代行 ○ビルやマンションの管理人 ○ドライバー ○介護スタッフ(補助) ○オフィスワーク

### 東京かあさん : シニア向けの仕事 10 種類

○オフィスワーク ○清掃業務 ○医療や福祉の現場 ○販売や飲食 ○家事代行や家政婦 ○ベビーシッター ○資格を活かした仕事 ○倉庫や工場などの軽作業 ○マンションやビルの管理人 ○寮母や補助員

### そなサポ : シニア世代に人気の仕事ランキング

○事務・入力・受付 ○軽作業(梱包・仕分け) ○専門・技術職など資格を有するもの ○清掃 ○医療・福祉・介護 ○講師・インストラクター ○スーパーマーケット ○厨房、キッチン ○配送・物流(引越しスタッフ・配送・郵便など)

ほかにも「定年後の仕事ランキング」のサイトはいくつかありましたが、おおむね大同小異でした。つまり「定年後の仕事ランキング」で取り上げられているジョブは、WEB 情報を見る限り同じようなジョブがランクインしているようです。

もちろん 60 歳以上で就業している高齢者の多くは、65 歳あるいは 70 歳くらいまでは再雇用制度により定年まで勤めていた企業等で引き続き就業を続けています。そして再雇用で就業形態が非正規になったとしても仕事の内容は定年前と同じ場合が最も多くなっています。おそらく「定年後の仕事ランキング」サイトで取り上げているジョブは、これら定年後の再雇用(継続雇用)で就業している仕事は除かれ、完全に企業等を退職して新たに就業する場合が対象になっていると思われます。

そこで気になるのは、再雇用(継続雇用)ではない就業形態の定年後ジョブは、本当に「定年後の仕事ランキング」に出てくるようなジョブがほとんどなのかということです。来月号ではこのことについて考えてみたいと思います。

---

## ◆◆◆読み物コーナー◆◆◆

### ■今月の1冊

人生 100 年時代を迎え、シニア層の増加を意識した書籍が増えているようです。このコーナーでは、高齢者の就労に関わるテーマや高齢者の社会参加、ライフスタイル、健康問題などを取り上げている書籍を紹介します。

書 名:ぼっち死の館

著 者:齋藤なずな

出版社:小学館(BIG COMICS FRONTLINE)

(URL <https://www.shogakukan.co.jp/books/09861635>)

定 価:1,280 円(税込)

今回ご紹介するのは、独居する高齢者の日常生活を描いたコミックです。

あまり聞きなれない言葉かもしれませんが、タイトルにある「ぼっち死」とは、「(高齢者の)孤独死」のことです。高度経済成長期に建てられ、働き盛りのサラリーマンとその家族で賑わっていた、多摩ニュータウンを想起させる古い団地を舞台に、ひとり暮らしの高齢者たちの、さまざまな「ぼっち死」が描かれています。というと、深刻で重苦しい内容が想像されるかもしれませんが、しかし、実際のエピソードにもとづいたと思われる、「ぼっち死」した高齢者がリアルに描かれているのは確かですが、思わず笑ってしまうような、ユーモアを交えて描かれていますので、読後感はそれほど暗くはないと思います。地域猫や飼い猫が、独居老人の良きパートナーとして重要な役割を果たしているところも、この作品の魅力になっているように感じられます。

本書には、著者の詳しいプロフィールが載せられていませんが、著者は、76 歳のいまも現役のマンガ家を続けているようです。本書が紹介された新聞記事によると、40 歳でマンガ家を志した、遅咲きのマンガ家ということです。本作では、著者と思われる登場人物が生涯現役を続けることの苦勞を語っており、身につまされるものがあります。なかでも、作者自身が体験したという、脳梗塞から無事生還したエピソードは心に残るのではないのでしょうか。

このコミックを出版した小学館は、シニア向けのマンガレーベルとして「ビッグコミックスフロントライン」を立ち上げたとのことで、本書はこのマンガレーベルの第 2 弾です(シリーズ第 1 弾は山本おさむ『父を焼く』)。老いや介護、みとり、終活など、シニア世代と関わりの深い内容のコミックを取り上げるそうですが、働き盛りの世代が読んで「自分の未来」として十分に楽しめると感じました。著者の次回作を期待するとともに、このマンガレーベルで描かれる世界の広がりにも期待が持てるのではないかと感じました。

(特別会員:坂巻 大)

### ■高齢者雇用の総合誌『エルダー』のご紹介

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が発行する高齢者雇用の総合誌「エルダー」に関する情報

は、下記の URL からご覧いただけます。

[啓発誌「エルダー」 | 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 \(jeed.go.jp\)](http://jeed.go.jp)

---

◆◆◆◆◆  
配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍  
支援協議会・事務局までご連絡ください。

本通信に対するご意見やご感想をお聞かせください。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

---

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 17-2 兜町第 6 葉山ビル 4 階

TEL: 03-6555-3926      HP: <http://www.agenomics.org>

---